

## 【小学生の部】作文部門 優秀賞

### 「環境問題は借りた本を返すことだ」

練馬区立高松小学校 5年 <sup>わかまつ まきや</sup>若松 真矢

僕の住む街では、石神井城跡や三宝寺池周辺に残された緑豊かな環境は、とても貴重な空間です。ボート池の周りも、大きく広がる空と水の風景を楽しみながら散歩すると、とても気持ちが良いので、僕はこういう環境をいつまでも大切にしていきたいなと思います。

しかし、今、地球温暖化は、こうした風景にもじわじわと影響を及ぼしています。そもそも自然とは地球から人間たちが借りているものだと思います。だから、人間が勝手に森林を伐採したり、ごみで汚したり、二酸化炭素を出して温度を上げたりして、その自然をぶち壊すのは余りにも身勝手です。

そのイメージは、図書館で本を借りたら、その中がぐしゃぐしゃに破られていたというものに近いです。人間はその本(自然)を破ったり水に漬けたりして図書館(地球)に返しているのです。図書館(地球)はどう思うでしょう。僕なら絶対に怒ります。その報いを人間は受けている、これが地球温暖化です。

練馬区では、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年比で26%削減するという目標を立てています。国連もSDGsという目標を設定し、具体的に取組もうと動き出しました。TVでも連日、この話題がどこかで取り上げられています。

でも、僕には、そのどれもが危機感のない薄っぺらなスローガンに思えてなりません。確かに、こうして具体的な目標値を設定して協力や努力を呼びかけることは大切なことです。しかし、僕の住む街では、年々畑が減って宅地に変わっています。緑は確実に減っているのです。より良い環境を生み出そうとして、確実に、より悪い環境へ変化しています。

もっとおかしいと思うのは、熱中症対策でエアコンをつけましょうと呼びかけるけど、その熱中症を生んだ原因の1つがエアコンの廃熱だということです。いたちごっこです。

自然を守る、地球温暖化を防ぐ、とても大切なことですが、根本的な何かが違っているような気がしてなりません。もう一度、考え直すべきなのは、僕たち人間は自然(本)を地球(図書館)から借りているという点です。欲張りな豊かさを追い求めているために、謙虚な気持ちをどこかに置き忘れていたのです。

環境問題は生き方の問題なのだと思います。